

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	<table border="1" data-bbox="639 730 1166 1099"><tr><td data-bbox="639 730 895 909">1</td><td data-bbox="895 730 1166 909">2</td></tr><tr><td data-bbox="639 909 895 1099">3</td><td data-bbox="895 909 1166 1099">4</td></tr></table>	1	2	3	4
1	2				
3	4				
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め				
上記のとおり分割撮影した事を証明する。					

0386
0387
0388
0389

所 屬
第四軍第一二三師團 部隊名 步兵第二六九聯隊(四) 通稱號
滿洲 松風一五二〇三六
郵便所名

全般概要					轉入		轉出		員人調編	
十九年以降					十九年以降					
隊大三第 隊小砲兵步		隊大三第 隊中銃機		隊中九第		隊中八第		別 隊		
								隊長名 (内は先代を示す)		
								開人 戦時 平時		
								駐屯地 戦時 平時		
								戦斗間の状況及損耗		
								終戦後の人員變動		
								作業大隊より 入「ソ」迄の變動		
								入「ソ」人員 隊別計		
								滿洲残留		
								收		

隊別		隊別	編制人員
隊名	別	編制人員	隊別
第 三 步 兵 第 二 六 九 聯 隊 (四)	第 八 中 隊	第 九 中 隊	第 三 關 銃 中 隊
隊 長 名	(内 は 先 代 を 示 す)	戰 闘 間 の 状 況 及 損 耗	終 戦 後 の 人 員 變 動
駐 屯 地	戰 闘 時	作 業 大 隊 以 外 の 入 出 人 員 變 動	入 出 人 員 計
	平 時	滿 洲 殘 留	
	戰 時	收 容 所 名	
		員 所 人	
		死 亡	
		滿 洲 領 土 以 外 領 土 へ の 送 還 人 員	
		計	
		者 數	
		狀 況 不 明	

部隊名 步兵第二六九聯隊(四) 通稱號 滿洲一五二〇八六

郵便所名

	隊 大 三 第 隊 小 砲 兵 步	隊 大 三 第 隊 中 銃 關 機	隊 中 九 第	隊 守 八 第

	第三歩兵砲隊	第三機關銃隊	第九中隊	第八中隊

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	<table border="1" data-bbox="639 719 1174 1088"><tr><td data-bbox="639 719 895 904">1</td><td data-bbox="895 719 1174 904">2</td></tr><tr><td data-bbox="639 904 895 1088">3</td><td data-bbox="895 904 1174 1088">4</td></tr></table>	1	2	3	4
1	2				
3	4				
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め				
上記のとおり分割撮影した事を証明する。					

0390
0391
0392
0393

所屬 第四軍第一二三師團 部隊名 歩兵第二七〇聯隊(一) 通稱號 滿洲風一五二〇四 郵便所名

全般概要		轉入	轉出	員人編		別隊		隊長名		編人		駐屯地		戰鬥間の状況及損耗		終戦後の人員變動		作業大隊より入ソ運の變動		隊別計		滿洲残留		收容	
<p>終戦前北安より孫吳に移動したがこの部隊は終戦前を待たずにかつた後である八月一日武備隊として入ソ「一」ブライ「一」ライチ「一」其他各地に分散收容されている</p> <p>孫吳東地区一隊山二隊山三隊山忠節山の各陣地に於てソ軍機動部隊と砲撃し時折新込隊を編成して八月三日一四日まで交戦八月十五日命に依り消滅の行動八月十七日終戦の本戦中における戦死約七〇名逃亡二〇名なり</p> <p>一隊山 聯本 二隊山 三隊山 忠節山</p> <p>二〇、八、一七 孫吳に於て武備、自衛一(森藤五七)其の他各中隊長の掌握下に入り、八月二二日孫吳官舎に收容</p> <p>九月三日作業第四、五大隊編成</p> <p>一隊は二〇、九、一三第三大隊に編入入りソ</p> <p>九月一三日患者五〇名孫吳に發テオ通信中隊の編成左の如くである</p> <p>少尉 貝塚 肇 指揮班 一 小隊有線(四ヶ分隊)50 二 小隊(無線)四ヶ分隊(六號)</p> <p>無線 一ヶ分隊 小銃 一五〇 手榴彈 一〇〇 小銃彈 五〇</p>		二〇、三、一〇 七隊隊の改編				<p>大佐 太田 紀一 (副官) (大尉 原) 戰時中副官 中尉 堀田 綾太郎</p>												<p>七月中旬作業隊三ヶ大隊を編成行軍でブ市経由ベトロ收容所に入る</p>							
隊業作		隊中通信		隊中砲射速		本行部本		本		戰鬥時間		駐屯地		戰鬥間の状況及損耗		終戦後の人員變動		作業大隊より入ソ運の變動		隊別計		滿洲残留		收容	
		少尉 貝塚 肇								戰鬥時間		駐屯地		戰鬥間の状況及損耗		終戦後の人員變動		作業大隊より入ソ運の變動		隊別計		滿洲残留		收容	

部隊名 歩兵第二七〇聯隊(一) 通稱號 滿洲松風一五二〇四

郵便所名

乗	隊業作	隊中信通	隊中砲射速	本行部本	部本	別隊	隊長名		戰鬥間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より入「ソ」迄の變動	入「ソ」人員	滿洲残留	收容所		歸還人員	状況不明者數
							(内は先代を三本す)	(副官)						隊員	駐屯地		
		少尉 貝塚 猛					大佐 太田 紀一 (副官) (大尉 原) 戰時中副官 中尉 姫田 綾太郎				七月中旬作業隊二ヶ大隊を 編成行軍でア市經由ベドロ 收容所に入る						

隊中砲隊機重	隊小馬乘	隊業作	隊中信通	隊中砲射速	率行部本	部 本
			少尉 員塚 猛			大佐 木三 浩一 (副官) (大尉 原) 戦時中副官 中尉 海田 藤太郎
<p>中隊西天山砲五所連射砲 五所正角各大隊の砲隊 三ヶ所の砲隊三所正角 七指隊と東角山砲隊は つたが戦中しなかつた</p>						

中隊西天山砲五所連射砲
五所正角各大隊の砲隊
三ヶ所の砲隊三所正角
七指隊と東角山砲隊は
つたが戦中しなかつた

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	<table border="1" data-bbox="638 723 1171 1093"><tr><td data-bbox="638 723 895 904">1</td><td data-bbox="895 723 1171 904">2</td></tr><tr><td data-bbox="638 904 895 1093">3</td><td data-bbox="895 904 1171 1093">4</td></tr></table>	1	2	3	4
1	2				
3	4				
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め				
上記のとおり分割撮影した事を証明する。					

0397
0398
0399
0397

全般概要						属所
轉入						第四軍第一二三師團
轉出						
人員編成						部隊名
大隊第一	隊中第三	隊中第二	隊中第一	部本隊大第一	別隊	
少尉 墨川	少尉 黒川久次郎	少尉 岩田	少尉 岡田	大尉 大野 穰	隊長名 (内は先代を不示す)	歩兵第一一七〇聯隊
					開人 駐屯地	
					戰鬥間の状況及損耗	通稱號 松風一五二〇四
		死、行方不明			終戦後の人員變動	
		命令不遵に於て再降陣地に着かんとして隊中で「ソ」軍投入しありて交戦せるものなり一八〇名中一〇〇名戦死五〇名負傷			作業大隊より入「ソ」迄の變動	郵便所名
					入「ソ」人員	
					除別計	滿洲殘留
					收容	

部隊名						別隊	編制人員
步兵第一二七〇聯隊(二)							
通稱號						駐屯地	開入 戦時 人員
松風一五二〇四							
郵便所名						戦斗間の状況及損耗	終戦後の人員變動
作業大隊より入ソノ迄の變動							
隊別計						入ソノ人員	満洲残留
收容所名							
收容所						死亡	満洲よりソノ領計
人員							
者数						状況不明	
第一隊	第二隊	第三隊	第四隊	第五隊	第六隊	大隊長 大尉 天野 穰 (内は先代を示す)	
少尉 黒川	少尉 黒川久太郎	少尉 足立 五郎	少尉 岩田	少尉 岡田			
		命令不徹底にて再度陣地に着かんとせし隙すでに「ソ」軍侵入しありて交戦せるものなり一八〇名中一〇〇名戦死五〇名負傷	死一、行方不明一				

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	<table border="1" data-bbox="639 730 1177 1102"><tr><td data-bbox="639 730 903 913">1</td><td data-bbox="903 730 1177 913">2</td></tr><tr><td data-bbox="639 913 903 1102">3</td><td data-bbox="903 913 1177 1102">4</td></tr></table>	1	2	3	4
1	2				
3	4				
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め				
上記のとおり分割撮影した事を証明する。					

0398
0399
0400
0401

屬所

第四軍第二二三師團

部隊名

歩兵第二七〇聯隊(三)

通稱號

滿洲一五二〇四
松風

郵便所名

全般概要

轉入
轉出
十九年以降
十九年以降

員人訓練

別隊

隊長名
()内は先代を示す

開人
戦時

駐屯地
平時
戦時

戦闘間の状況及損耗

終戦後の人員變動

作業大隊より
入ソノの變動

入ソノ人員
隊別計

滿洲残留

收

隊中砲兵歩	隊中銃關機	隊中六第	隊中五第	隊中四第
	岩本 忠	中尉 迫 勇吉 少尉 片原		少尉 山下
			約二〇名死亡	
		命令不徹底にて再突陣地につかんとせし察すべく「ソ」軍侵入しありて交戦せるものなり、山下中尉以下戦死傷者千(60)名(各)		

隊名	別除	隊長名	隊員	駐屯地	戦闘間の状況及損耗	終戦後の人員變動	郵便所名	作業大隊より入ソノ人員	満洲残留	收容所名	所入死亡	満洲より領計	状況不明者数
步兵第二七〇聯隊(三)		隊長、名 ()内は先代を不示す	少尉 山下				滿 松風一五二〇四						
第機二關大隊													
第二砲兵中隊													
第六中隊		中尉 迫 勇吉 少尉 片原											
第五中隊					約二〇名戦死								
第四中隊													
命令不達底にて再既陣地につきんとせし際 すべし「ソ」軍侵入しありて交戦せるもの なり、山下中尉以下戦死傷者千(八〇〇名)													
岩本 忠													

隊中七第	部本隊大三第	隊大二第 隊中砲兵步	隊大二第 隊中銃關機	隊中六第	隊中五第	隊中四第
	大尉 長田 政男		岩本 忠	中尉 迫 勇吉 少尉 片原		少尉 山手
				命令不遂にて再降陸地につきんとせし際 すでに「ソ」軍侵入しありて交戦せるもの なり。山下中尉以下戦死傷者千(60、70名)	約二〇名戦死	

分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	<table border="1" data-bbox="635 721 1171 1093"><tr><td data-bbox="635 721 890 904">1</td><td data-bbox="890 721 1171 904">2</td></tr><tr><td data-bbox="635 904 890 1093">3</td><td data-bbox="890 904 1171 1093">4</td></tr></table>	1	2	3	4
1	2				
3	4				
分割撮影した理由	A3判以上のため				
上記のとおり分割撮影した事を証明する。					

0402
0403
0404
0405

					全般概要	所属
					轉入 十九年以降	第四軍第一二三師團 部隊名 步兵第二七〇聯隊(四) 通稱號
					轉出 十九年以降	
					員人割編	松瀧 風一五二〇四
					別隊	
第三師團 步兵大隊	第三師團 關銃大隊	第九中隊	第八中隊	隊長名 ()内は先代を不示 中尉 吉村	戰闘間の状況及損耗	郵便所名
				戰闘間の状況及損耗	終戦後の人員變動	
				戰闘間の状況及損耗	終戦後の人員變動	入ッレ人員
				戰闘間の状況及損耗	終戦後の人員變動	
				戰闘間の状況及損耗	終戦後の人員變動	滿洲殘留
				戰闘間の状況及損耗	終戦後の人員變動	
				戰闘間の状況及損耗	終戦後の人員變動	收
				戰闘間の状況及損耗	終戦後の人員變動	

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	<table border="1" data-bbox="635 725 1168 1093"><tr><td data-bbox="635 725 890 904">1</td><td data-bbox="890 725 1168 904">2</td></tr><tr><td data-bbox="635 904 890 1093">3</td><td data-bbox="890 904 1168 1093">4</td></tr></table>	1	2	3	4
1	2				
3	4				
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め				
上記のとおり分割撮影した事を証明する。					

0406
0407
0408
0409

第四軍第二二三師團 部隊名 第一二二三師團挺進隊 通稱號 松風一五二九五

郵便所名

全般概要		轉入		轉出		員人副編	
<p>部隊主力は八月一日南陽山陣地の一部は歩兵第二六八聯隊に配属されて花貝山陣地に各々位置していた所を、本隊を率うけた主力は南陽山より後退中八月十六日「ソ」軍の包圍攻撃をうけ約四〇〇名の戦死傷行方不明者を出した。花貝山の一部第二中隊の一ケ小隊は八月一五日一変山方面に出撃し全滅した模様である。主力は八月十九日孫吳に攻撃され九月中旬「ソ」軍の進行途中途で「ソ」軍に統殺されたものもあると云われるがその他は「ライチハ」「ゴオロシロフ」に收容されている模様</p>		十九年以降		十九年以降			
隊中三第	隊中二第	隊中一第	部本隊大	別隊	隊長名	開入時	駐屯地
		五ヶ小隊以下 65/67	少佐 露木甚三郎	(内は先代を示す)	孫 吳	平時	南陽山
					戦闘間の状況及損耗		
		二六八聯隊に配属花貝山に陣し中隊長以下隊員方面に出撃全員損害なし。一ヶ小隊は一変山方面の敵砲列陣地の爲出撃全滅する(八月一五日)			終戦後の人員變動		
		陣地及前線、秋月山守備に任ず、大半は戦死、又は行方不明生存者三名			作業大隊より入「ソ」迄の變動		
					入「ソ」人員		
					隊別計		
					滿洲殘留		
					收		

部隊名 第一一二三師團挺進隊 通稱 松風一五二九五

郵便所名

隊 中 三 第		隊 中 二 第		隊 中 一 第		部 本 隊 大		別 隊	
				五ヶ小隊以下 一ヶ小隊以下 65~67		少佐 露木甚三郎		隊長名 (内は先代を不示)	
								戦闘間の状況及損耗	
								終戦後の人員變動	
								作業大隊より 入ソ連の變動	
								入ソ連人員	
								満洲残留	
								收容所	
								收容所名	
								人員死亡	
								満洲より 人員領許	
								人員者数	
								状況不明	
								戦闘間の状況及損耗	
								終戦後の人員變動	
								作業大隊より 入ソ連の變動	
								入ソ連人員	
								満洲残留	
								收容所	
								收容所名	
								人員死亡	
								満洲より 人員領許	
								人員者数	
								状況不明	

陣地最前線、秋月山守備に任ず、大半は戦死、又は行方不明生存者三名

二六八聯隊に配属花貝山に陣し中隊長以下隊員方面に出撃全員損害なし一ヶ小隊は一貴山方面の敵砲列隊砲の爲出撃全滅する(八月十五日)

九、一四 孫吳發達留四八〇名
九、二三 一ライチハ一隊
容所に入る途中逃亡を計り殺されたもの少くなし

第六隊本部	第一隊中	第二隊中	第三隊中	
	<p>五ヶ小隊 一ヶ小隊以下 65 67</p>			
吳				
山陽				
		<p>二六 八聯隊に配属花貝山に降し中隊長以下隊員方面に出撃全員損害なし、一ヶ小隊は一葉山方面の敵砲列隊砲の爲出撃全滅する(八月十五日)</p>	<p>陣地最前線、秋月山守備に任ず、大半は戦死、又は行方不明生存者三名</p>	
<p>六三〇 六三二 六三三 六三四 六三五 六三六 六三七 六三八 六三九 六四〇 六四一 六四二 六四三 六四四 六四五 六四六 六四七 六四八 六四九 六五〇 六五一 六五二 六五三 六五四 六五五 六五六 六五七 六五八 六五九 六六〇 六六一 六六二 六六三 六六四 六六五 六六六 六六七 六六八 六六九 六七〇 六七一 六七二 六七三 六七四 六七五 六七六 六七七 六七八 六七九 六八〇 六八一 六八二 六八三 六八四 六八五 六八六 六八七 六八八 六八九 六九〇 六九一 六九二 六九三 六九四 六九五 六九六 六九七 六九八 六九九 七〇〇</p>				

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	<table border="1" data-bbox="635 730 1174 1104"><tr><td data-bbox="635 730 898 913">1</td><td data-bbox="898 730 1174 913">2</td></tr><tr><td data-bbox="635 913 898 1104">3</td><td data-bbox="898 913 1174 1104">4</td></tr></table>	1	2	3	4
1	2				
3	4				
分割撮影 した理由	A3判以上のため				
上記のとおり分割撮影した事を証明する。					

0410
0411
0412
0413

第四軍第一二三師團 部隊名 第一二三師團制毒隊 通稱號 松風一五二二一

郵便所名

全般概要		隊名		郵便所名	
轉入 十九年以降		轉出 十九年以降		隊長名 (内は先代を示す) 軍醫中尉 小川	
員入制編		別隊		關人 戰時	
隊中務動		駐屯地		平時 戰時	
		戰鬥間の狀況及損耗			
		終戦後の人員變動			
		作業大隊より 入ソノ迄の變動			
		入ソノ人員		除別計	
		滿洲殘留			
		収			

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	<table border="1" data-bbox="639 723 1177 1093"><tr><td data-bbox="639 723 900 909">1</td><td data-bbox="900 723 1177 909">2</td></tr><tr><td data-bbox="639 909 900 1093">3</td><td data-bbox="900 909 1177 1093">4</td></tr></table>	1	2	3	4
1	2				
3	4				
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め				
上記のとおり分割撮影した事を証明する。					

0414
0415
0416
0417

第四軍第一二三師團 部隊名 野砲兵第一二三聯隊(一) 通稱 松風 五二〇五四 郵便所名

全般概要							八、一六 孫吳陣地	
轉入 轉出							十九年以降 十九年以降	
員人編							約三〇〇名	
班揮指隊大一第	隊中三第	隊中二第	隊中一第	部本隊大一第	部本	別隊	隊長名 (内は先代を不示)	
		中尉 川原崎	中尉 高村	少佐 江崎	中佐 町田 資助		戦開人	駐屯地
					吳 孫		平時	戦時
					吳 孫			
		二〇、八、六頃 砲撃水移動、一三五旅團と共に行進せる模様			八、九 歩兵第二六八聯隊、二六九聯隊、二七〇聯隊に配属各陣地に入る 八、一六 砲兵對戰車戦隊を行へるも損害殆どなし		戦闘間の状況及損耗	
							終戦後の人員變動	
					第一次九、四出發入「ソ」ハプロフク 第二次九、一三 聯隊の一部を殘留主力出發 九、一六 黒龍江渡河一、七「ライチ」收容所に入る		作業大隊より入「ソ」迄の變動	
							隊別	入「ソ」人員
							計	滿洲殘留

部隊名 野砲兵第一一二三聯隊(一)

通稱 松風 一五二〇五

郵便所名

班揮指隊大第一第		隊中三第		隊中二第		隊中一第		部本隊大第一第		部本		別隊	
				中尉 川原崎		中尉 高村		少佐 江崎		中佐 町田 賢助	隊長名 (内は先代を示す)		
											戦 闘 人 時 員	駐 屯 地	
										吳 孫	平 時	戰 時	
										吳 孫	戦 時		
											戦 闘 間 の 状 況 及 損 耗 八、九 歩兵第二六八聯隊、二六九聯隊、 二七〇聯隊に配属各陣地に入る。 八、一六 對空對戰車戰鬥を行へるも損害 殆どなし		
											終 戦 後 の 人 員 變 動 二〇、八、六 砲兵連隊に移動、一三五旅團 と共に行動せる連隊		
											作 業 大 隊 以 前 の 變 動 入「ソ」迄の變動 第一次九、四 田邊入「ソ」 ハバロフスク 第二次九、一三 聯隊の一 部を殘留主力出發 九、一六 黑龍江渡河一、 七「ライチ」收容所に入 る		
											隊 別 計	入「ソ」人員	
											滿 洲 殘 留		
											收 容 所 名	收 容 所	
											所 入 員	死 亡 員	
											滿 洲 以 前 領 計	歸 還 人 員	
											者 數	狀 況 不 明	

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	<table border="1" data-bbox="636 721 1171 1093"><tr><td data-bbox="639 725 895 904">1</td><td data-bbox="895 725 1168 904">2</td></tr><tr><td data-bbox="639 904 895 1088">3</td><td data-bbox="895 904 1168 1088">4</td></tr></table>	1	2	3	4
1	2				
3	4				
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め				
上記のとおり分割撮影した事を証明する。					

0418
0419
0420
0421

所 属
第四軍第一二三師團 部隊名 野砲兵第一二三聯隊(二)
通稱號 滿松風一五二〇五四

郵便所名

全般概要						轉入 轉出	員人編
本隊大三第						十九年以降	別 隊
列段隊大二第	班揮指隊大二第	隊 中 六 第	隊 中 五 第	隊 中 四 第	隊 長 名	關 人	
少佐 藤山					()内は先代を示す	駐屯地	
					時 員	平 時	
					戦 時	戦 時	
一部戦斗に参加せず				二〇、八、六夜、環澤に移動第一三五旅團と共に行動せる模様	戰鬥間の状況及損耗	終戦後の人員變動	
					作業大隊より入ソ返の變動	入ソ人員	
					隊別計	滿洲残留	
					收		

部隊名 野砲兵第一二三聯隊(二)

通稱號 滿松風一五二〇五

郵便所名

編制人員						隊別
第三大隊本部	第二大隊段列	第二大隊指揮班	第六中隊	第五中隊	第四中隊	隊長名 (内は先代を示す)
少佐 藤山						
						戦開人 時員
						駐屯地 平時 戦時
一部戦斗に参加者なし				二〇、八、六頃 環壕に移動第一三五旅團と共に行動せる模様		戦闘間の状況及損耗
						終戦後の人員變動
						作業大隊より入ソ返の變動
						入ソ人員 隊別計
						滿洲残留
						收容所名
						收容所
						死亡
						滿洲より領計
						歸還人員
						状況不明者数

隊中八第	隊中七第	部本隊大三第	列段隊大二第	班揮指隊大二第	隊中六第	隊中五第	隊中四第
中尉 鈴木		少佐 藤山					
			一部戦斗に参加損害なし			二〇、八、六頃 と共に行進せる隊 隊員に歩隊第一三五隊	

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	<table border="1" data-bbox="638 716 1173 1086"><tr><td data-bbox="646 728 901 907">1</td><td data-bbox="901 728 1165 907">2</td></tr><tr><td data-bbox="646 907 901 1075">3</td><td data-bbox="901 907 1165 1075">4</td></tr></table>	1	2	3	4
1	2				
3	4				
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め				
上記のとおり分割撮影した事を証明する。					

0422
0423
0424
0425

				全般概要	場所
				轉入 十九年以降	第四軍第一二三師團 部隊名 野砲兵第一二三聯隊(三)
				轉出 十九年以降	
	第三大隊隊段列	第三大隊指揮班	第九中隊	編制人員 別隊	通稱號
				隊長名 (内は先代を示す)	
				個人戦時 平時	郵便所名
				駐屯地 戦時 平時	
				戦闘間の状況及損耗	松満 風一五二〇五四
				終戦後の人員變動	
				作業大隊より 入ソ迄の變動	郵便所名
				入ソ人員 隊別計	
				滿洲殘留	
				收	

			編制人員	出降
第三大隊隊列	第三大隊指揮班	第九中隊	編制人員	出降
			隊別	隊名
			(内は先代を示す)	
			戦時人員	戦時人員
			平時	戦時
			駐屯地	
			戦闘間の状況及損耗	
			終戦後の人員變動	
			作業大隊より入ソノ迄の變動	
			隊別	入ソノ人員
			計	
			満洲残留	
			收容所名	收容所
			人員	死亡
			満洲より	満洲より
			領	計
			者	状況不明
			数	

部隊名 野砲兵第一一二三聯隊(三) 通稱號 滿風一五二〇五四 郵便所名

